

電 力 情 報

NO. 78

平成 24 年 1 月 26 日

東 北 電 力 (株)

1 2 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1 . 電 力 需 要 に つ い て (表 - 1 参 照)

1 2 月 分 の 販 売 電 力 量 は、6 5 億 2 , 3 0 0 万 k W h、対 前 年 比 9 3 . 3 % の 実 績 と な り、東 日 本 大 震 災 の 影 響 や 節 電 へ の ご 協 力 な ど に よ り、1 0 カ 月 連 続 で 前 年 実 績 を 下 回 り ま し た。

用 途 別 の 実 績 に つ い て は、以 下 の と お り で す。

○ 特 定 規 模 需 要 以 外 の 需 要 (自 由 化 対 象 以 外 の お 客 さ ま)

電 灯 は、東 日 本 大 震 災 の 影 響 や 節 電 へ の ご 協 力 な ど に よ り、対 前 年 比 9 7 . 4 % の 実 績 と な り ま し た。

特 定 規 模 需 要 以 外 の 需 要 の 合 計 で は、対 前 年 比 9 7 . 5 % の 実 績 と な り ま し た。

○ 特 定 規 模 需 要 (自 由 化 対 象 の お 客 さ ま)

業 務 用 電 力 は、東 日 本 大 震 災 の 影 響 や 節 電 へ の ご 協 力 な ど に よ り、対 前 年 比 9 1 . 5 % の 実 績 と な り ま し た。

特 定 規 模 需 要 の 合 計 で は、対 前 年 比 9 0 . 8 % の 実 績 と な り ま し た。

な お、産 業 用 そ の 他 電 力 に つ い て は、大 口 電 力 が 大 き な ウ エ ー ト を 占 め て お り、そ の 概 要 は 以 下 の 参 考 の と お り で す。

[参 考]

○ 大 口 電 力

大 口 電 力 は、東 日 本 大 震 災 の 影 響 な ど に よ り、対 前 年 比 8 8 . 9 % の 実 績 と な り、1 0 カ 月 連 続 で 前 年 実 績 を 下 回 り ま し た。

2．供給力について（表 - 2 参照）

1 2 月の発受電電力量の合計は、7 8 億 2 , 5 0 0 万 k W h、対前年比 9 5 . 9 % の実績となり、東日本大震災の影響などにより、1 0 カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は 8 6 . 6 % の渇水となりました。

新潟・福島豪雨の影響により停止中の発電所があることや、前年との出水状況の違いなどから、発電量は前年を 3 億 3 , 9 0 0 万 k W h 下回る 4 億 3 0 0 万 k W h となりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を 9 億 5 , 3 0 0 万 k W h 上回る 5 1 億 5 , 2 0 0 万 k W h となりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所 1 号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を 2 , 7 0 0 万 k W h 上回る 1 億 k W h となりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響などにより、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を 9 , 8 0 0 万 k W h 下回る 1 9 億 8 , 4 0 0 万 k W h となりました。

以 上